

# 快適トイレで現場が快適!

トイレが  
綺麗だと  
気分がいい!

働く現場で欠かせないトイレ。多くの建設現場では働く人たちの環境改善の一つとして、安心して快適に使用できる仮設トイレの導入が進んでいます。こうした設備の今とこれからのメーカーに聞いてきました。

## 建設現場で過ごす人のための建設業界の外から貢献

若者や女性職人の活用が求められている建設現場。それに合わせて現場の環境は大きく改善。その変化を現場の外から感じているのは、仮設トイレなどの設備を製造販売・レンタルする日野興業の谷本さん。導入される仮設トイレを通し、これからの建設業界の労働環境について話を伺った。

「建設業界は変わっています。女性用仮設トイレの導入をきっかけに、誰もが働きやすい現場になりつつあります。同時に私たちも、女性や若者の目



▲国土交通省とゼネコンが率先して女性が働きやすい建設業を目指す。国の直轄工事では快適トイレの設置が原則化されている



▲男女別だけでなく棚や鏡、トイレ前の目隠しなども使用者の立場で考えられている 場所●鹿島・竹中土木JV外環中央JCT北側ランプ工事

線でものづくりを進めています」建設業界の仕事の中で、魅力を感じるところは多々あるだろう。それはダイナミックさかもしれないし、達成感かもしれない。いずれにしても、そこで働かなければならない魅力がある。現場で長時間過ごすから発見できることだ。その現場で確実に使用するのがトイレなどの設備。建設業界で働く一人ひとりが、「トイレは現場の作業とは関係ない」と問題意識

営業企画部 部長  
谷本 巨さん



「かつての仮設トイレ開発は、コストや臭気、耐久性への対策が主でした。しかし今、現場で求められるものはそれだけではありません。利便さ、快適さ、安心感など、自宅のトイレ感覚で使用できるものが求められています。私たちが最終的に目指すものは、常設トイレと仮設トイレがあったとき、利用者が仮設トイレを選ばなくなる製品をつくること。そのために現場からのヒアリングは欠かせません。さらに私たちに新たに新人の女性社員が増えました。今後、彼女たちが今までになかった感覚で利用者の立場に立ったものづくりに貢献してくれることを期待しているんです」

## 若さと女性の目線で期待されるものづくり

同社が今後のものづくりで大切にしようとする女性や若者目線。そこに期待されているのが、同社の新入社員である藤代さんと藤井さん。二人とも入社前まで仮設トイレに対して「汚い。使いたくない」というイメージを持っていたという。その中で藤代さんは、元ハウスメーカー勤務という建設業界にいたことがあった。

「快適トイレ」が普及すれば、現場でトイレを使いたいと思う人が増えると思います。私はこれを知ったとき、

仮設トイレへのイメージが大きく変わりましたから。仮設トイレとは言うてもトイレばかりが問題ではなく、手洗いや動線の目隠しなど、とても奥深いことです。まだ勉強しなければいけないことばかりですが、もっと外にアンテナを張り、見聞を広め、製品づくりに関わって行きたいと思っています」

前職が旅行業界だった藤井さん。建設業界に接点はなかった。それでも同社に入社したのは、「ものづくり」だけでなく、「社会貢献」に通じるものを感じたからだ。

「仮設トイレは災害時の避難所でも重要な設備として利用されていることを知りました。設置される場所に関わる人が快適に過ごすための設備だと思つと興味を湧いたんです。例えば女性利用者が不安や不潔を感じていれば、そこで私たちがどうすればいいのかわかなくて、自分で考えて動くという社風の中で、入社後の自分が想像しやすかったんです。今ではやりたいことが毎日見つかるので、基本から知識を蓄え、大勢の人に仮設トイレで変わる世界を伝えたいと思っています」

2人は建設業界の現場をまだ知らない。これから建設業界で働くこととする未経験者と同じ。その彼女たちの視点が生かされる時、建設現場はさらに動きたくなる現場になるはずだ。



▲毎年開催されている建築建材展へ同社の快適トイレを出展。建設業入職者を増やす欠かせない手段として認知されている



◀今や洋式トイレは当たり前。温水洗浄便座(オプション対応)も装備の快適トイレ。

▶鏡や手洗い器など常設トイレでは普通の機能が、仮設トイレでも当たり前になってきている



藤代 桃子  
さん

元ハウスメーカー、不動産会社に勤務。趣味はドライブで、最近は料理にもハマっている。

藤井 真帆  
さん

元旅行代理店勤務。趣味は海外旅行で一番の思い出はハワイ。ジムには週3で通っている。

## 次号予告!

パワーワーク159号(2018年1月17日水曜日発行予定)では、仮設トイレを設置する職人を同社の千葉センターで取材。稼ぐ職人のヒミツとは……。

## 今週の取材協力は

### 日野興業(株)



千葉県市川市原木3024  
1952年設立

仮設トイレ(簡易トイレ)や常設トイレを始めとする屋外トイレ、風呂、シャワー、シンクなどの製造、販売、レンタルを手掛ける同社。建設現場だけでなく、祭りや花火大会、コンサートといった各種イベントのほか、被災地を含め日本全国で同社の製品は設置されている。